



Metro
Edmonton
Japanese
Community
School

コミュニティースクールニュース 2011年3月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL

代表者 守田幸男 (会長) 9443 Ottewell Road, Edmonton AB T6B 2E1 TEL: 780-466-3278

借用校舎 RICHARD SECORD SCHOOL 4025-117 St

URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

<校長からのメッセージ>

東北地方を中心に日本は未曾有の状態が続いています。犠牲者の冥福を心から祈るとともにこの状況が少しずつでも好転していくことを深く念じております。日本は、資源がない国でありながらも常に飛躍し続けていけるのは、日本に住む『人』という資源があるからだと常々私は(勝手に)思っています。日本人の勤勉さ、実直さ、謙虚さ、自分より他人のことを気にかける思いやり、一生懸命取り組む姿勢などなど、そういった人々が資源のない国日本支えているのでは、と。被災にあわれながらもお互いを支えあう姿、被災地で届いた配給をお互い譲り合う姿、割り込むことなくじっと列を作って待つ姿にみられるように災害による人的混乱が全く見られない国、それぞれのご家族も心配な状況で救助に当たる警察、消防隊、自衛隊そしてボランティアの方々、文字通り命を賭して原発処理に当たる電気会社、自衛隊の方々、寝食もまともにすることなく救護、看護に当たる医療関係の方々、そういう姿をニュースやネットの記事で読むにつれそれは間違っていないと思わせてくれます。そして、被害の大きさに胸が痛くなり、日本の人々の芯の真の強さに、胸が熱くなります。そういう人々が住む日本の一刻も早い復興の動きを願うばかりです。私達にできることは、募金をしたり募金活動をしたりするくらいですが、一人でも多くの救助、回復につながる事ができればと祈っています。

さて、エドモントン補習校は、三月も様々な行事がありました。

「このように感動的な弁論を堂々としてくれるそんな生徒がいるこの補習校にかかわることができてとても誇らしい」今年の弁論大会もまたこのような感動を与えてくれました。今年、特別審査員にアルバータ教育省から永富先生をお迎えし、小学6年生、中学一年生、中学三年生の14名が参加いたしました。それぞれの生徒は、冬休みごろから、テーマ、原稿作りに入ります。三学期の間、普段の学習と並行しつつ、原稿の完成そして弁論の練習を家庭で、そして学校で励んできました。そういった成果は100%出し切れたのではないのでしょうか。

「グリットアイロン」「フェースブック中毒」「12才の子に携帯は必要か」「スポーツはどうして体にいいの?」「友達は大事ですか?」「インターネット」「遺伝子組み換え食品」「身近に起こるポイ捨て」「幸せはどこに?」

「2012年で世界は滅びるのか」「友達の大切さ」「計画的陳腐化」「私の武器」「真の正義とは」以上が、今年度発表された弁論の題目でした。このタイトルからもわかるように毎年興味深い内容です。そして今年はそれに加え、非常に弁論の仕方が良かった。そのために訴える力というものが良く発揮されさらに感動的なものになったのではないのでしょうか。しかしながら残念ながら今年も

参観者が少なめでした。こんな素晴らしい補習校の行事を見逃す手はありません。来年こそ是非ぜひ御観覧よろしくお願いいたします。最優秀賞に中学三年生の金力蔵君、優秀賞に中学一年生の伊藤真理奈さんが選ばれました。審査員として参加していただいた守田さん、山本さん、元田先生ありがとうございました。また朝居さんをはじめ役員会のご協力ありがとうございました。

三月は、弁論大会だけではなくありません。年中、年長、一年生では体験入学、入園が行われました。それぞれのクラス最初は緊張気味ながらそして徐々にペースを上げ?終わりのほうには大盛り上がりで体験学習を終えました。来年度が非常に楽しみです。

また、今年も無事にそして順調に作品集の発行にいたしました。今年は各学年代表の方々が中心になりスムーズに作業が進められました。ご協力いただいた保護者、役員の皆様本当にありがとうございました。小6から中3までは先ほど触れました弁論大会の原稿が掲載されております。皆さま、お子様の成長ぶりを、そして補習校に通うそれぞれの生徒の様子を楽しまれてください。

2010年度は、25日の卒業式、修了式を残すのみとなりました。今年、3年ぶりに中学課程の卒業式が行われます。伊藤勇希くん、大場蒔さん、金力蔵君の三人は、10年以上も補習校で頑張ってきました。本当におめでとうございます。そしてここに至るまでのお家の方々のサポート、御努力にも心からおめでとうの言葉を送りたいと思います。修了式では各生徒に「在学証書」を授与し、年間を通じて一回も休まなかった生徒には「皆勤賞」を、また、本校の特別プログラム「漢字の達人」で、自分の学年のレベルまで到達した生徒には「特別賞」を授与します。式の後、各教室で、成績表が配られます。第78回全国書画展覧会からは、立派な賞状が届いております。これも、各教室でお渡しいたします。この一年で、生徒たちは心身ともに大きく成長いたしました。この補習校自体もどんどん大きくなっています。本当に月日の流れるのは早いものです。この一年、生徒たちは、宿題に予習にそして授業に本当によく頑張りました。保護者の皆さんには、しっかり宿題のお手伝いをそして学校でのお当番などいろいろお世話になりました。教師の皆さんには、毎週の授業が充実したものになるようにしっかり教材研究にあたっていただきながら授業に挑んでもらいました。役員会の皆様には、普段の授業から各行事に至るまでいろんな面でお世話になりました。こうやって無事に2010年度の終わりを迎えることができ感謝の気持ちでいっぱいです。みなさま、楽しい春休みを過ごされてください。そして4月8日に笑顔で補習校でお会いいたしまししょう。

校長からのメッセージ2

3月をもって、上田先生、左館先生の計2名の教師が辞めることになりました。これまで保護者の皆様にはたいへんお世話になりましたこと、感謝申し上げます。また両先生方には補習校のためにいろいろ力を貸していただきました。ありがとうございました。二人とも、いつかまた何らかの形で生徒のために役立つことができると願っております。

代わって、4月からフロメント先生、山下先生が新任として、片山先生と今野先生が復帰という形で2011年度の教師陣に加わっていただきます。二年半、副校長として補習校を支えていただいた長倉先生にも現場復帰していただきます。私自身も担任としての立場を離れ、校長を専任として務めさせていただきます。新年度からよろしく願いいたします。

校長 坂口 宗



尚、弁論大会の様子を記録したDVDが図書のように保管してありますので、皆さん観覧してみてください。

＜会長からのメッセージ＞

本年度も明日の授業で終了です。特に大きな問題もなく無事1年を終えれそうで、まずはホッとしています。会員の皆様、学校運営へのご協力ありがとうございました。新年度は4月8日から始まります。来年度もご協力よろしくお願いします。早速4月8日には、年次総会が開催されます。年に1度の重要な会議ですので、必ず出席願います。どうしても出席できない方は、既に配信済みの委任状を必ず提出して下さい。委任状用紙は、事務係のダウンウオールドさんの所にも置いております。会員全員が集まる貴重な場ですので、当校に関して皆さんのきたんのない意見をお聞かせ下さい。総会の案内と議題は、近々別途配信します。

先週の弁論大会で、中3の大場蒔さんが、「この学校に通えて自分の為になった。」と言ってくれました。とってもうれしかったです。ここエドモントンには、他の北米の大都市程、子供達が日本語を学べる場は多くはありません。それだけに本校は、我々にとって貴重な存在だと思います。我が子もそうですが、生徒達が卒業して成長して大人になった時に本校の意義を感じてくれたら、それだけでも会長職をやってる甲斐があると思いました。では明日、修了式/卒業式でお会いしましょう。

会長 守田 幸男

＜保護者便り＞

皆さんこんにちは。シンクレア文子(あやこ)です。7歳の長男、好(このむ)が年長組で、4歳の次男望(のぞむ)がプレイスクールでお世話になっています。

昨年の5月に台湾からカナダへ、そしてエドモントンには9月に引っ越してきました。台湾時代はまだ長男が幼稚園だったこともあり、子供達の日本語教育について真剣に考えていませんでした。カナダへ移住し、数ヶ月でそれまで片言だった長男の英語が急に上達、それにとまって日本語がおぼつかなくなってきたこと、家庭だけの教育には限度があることを実感したことで、9月より補習校に通い始めました。

補習校では日本語の読み書きはもちろんのこと、日本のお友達と知り合ったり、日本の行事や文化にふれることができ、カナダに在住しつつ、このようにして日本に触れる機会があるのはとても恵まれてると思います。

長男はまだまだ宿題をこなすことで精一杯、次男はまだきちんとした日本語さえしっかり話せませんが、二人とも毎週補習校を心待ちにし、嬉々として通っています。また補習校の図書館で日本の本を借りるのも楽しみようで、(親の私も子供以上に図書館にお世話になってます。)全部読めもしないのに山ほど本を借りてきては眺めています。

これからも少しずつでも勉強を継続していくことで、日本の文化、日本語を身につけてくれたらと願っています

シンクレア 文子

こんにちは、ハミルトンと申します。
娘のメーガンが年長組でお世話になっております。
生後19ヶ月からデイケアに通っている娘は、年中組で日本語学校に通うまで英語で話す事がほとんどでした。毎年、日本に行くと日本語が沢山でてくるのに、こちらに戻って2~3ヶ月すると、又、英語で話すばかりの日々。私が、日本語で話しかけても、返事は英語。家庭だけでの日本語習得は、本当難しいと感じていました。日本語学校に入る際、「言っている事はわかっているから大丈夫かな」と思っていたのですが、他の子供達は、みんな普通に日本語を話していて、時々「メーガンちゃん、又、英語で話してる。」と言われていたのを聞いて、娘に申し訳なく思い、ゆっくりでもいいから慣れてくれればと思いつつも、宿題をする時には、こちら熱が入り過ぎ、娘も泣き出す始末。こんな事が、ずっと続くのかと思うと、こちら泣きたくなくなりましたが、年長組になってからは、泣かずに宿題も出来る様になり、私も、唯一娘にゆっくり関わってあげられる時間となり、何とか1つ1つ乗り越えながら、2年間を過ごしてきました。日本語学校に通い始めてから、一番驚いたのは、娘も日本語をすごく意識する様になり、年中組の中盤からは日本語での会話がずっと続いています。先生やお友達存在も大きく、娘には良い刺激になっていて、母親として感謝しています。

でもまだまだスタートラインに立ったばかり、先輩お母さん方のお話を聞くと、倒れそう（もうすでに倒れています）になりますが、これからは「育児」は「育自」と実感し、少しの進歩とつまずきに一喜一憂しながら、娘が頑張れるところまで、一緒に歩み続けていきたいと思つています。これからも、宜しくお願い致します。
この原稿を書き終えた次の日、日本の大地震、津波のニュースを知りました。皆様のご家族は、ご無事でしたか？

改めて生かされている事に感謝し、皆様のご家族のご無事を祈ると共に、亡くなられた方のご冥福を心よりお祈りいたします。

ハミルトン 益美

皆さん、こんにちは。今うちの娘が年長組にお世話になっております。彼女は日本語学校が大好きで風邪などでいけないともうがっかりしています。娘が日本語学校に通い始めたのは年中に入園する数ヶ月前のプレスクールからです。早めにお友達を作って学校に慣れてもらうつもりでした。これは実際娘のためにもなりましたが私自身のためになったように思います。私が金曜日には日本語学校に子供を連れて行くという週のリズムができ、また、同じぐらゐの年の子供を持つママ友もできました。彼女が日本語学校でお友達と一緒に日本語を勉強する機会を得みんなと一緒に楽しんで学んでいることはとてもいいことだと思つています。ただ、これから小学生となって勉強が難しくなり宿題も増えていくので、この調子でどこまで行けるのかやはり不安もあります。なので、それは友達のお母さん方に相談したりしながら私自身も

前向きに娘をサポートしていきたいと思つています。と
いうことで、今後とも娘共々よろしくお願ひします。

安田(バギース)洋子

<授業日変更のお知らせ>

4月22日(金)は、祝日ですので、日本語学校は**4月21日(木)**に変更になります。皆様、お間違ひのないように登校してください。

<ボランティア募集>

会則と校則の整理、ストラテジックプランニング、奨学金委員会に協力して下さるボランティアのある方を募集しています。詳細は後日発表します。興味のある方はブルースさんまでお知らせください。

bruce@interbaun.com

<4月の当番

/Parent Duty shifts April>

4月8日	渡辺	(未定)
15日	滝田	シンクレア
21日(木)	ヴァン	キャンベル
29日	小林	茲田

<ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担当の山本(edjpschool@gmail.com)までご連絡下さい。投稿の締切りは第3金曜日、発行は第4週です。

スクールニュース校正 アデイソン千恵子
編集 山本 奈穂子

